



日本共産党平塚市議会議員団
 団長 渡辺 敏 光
 電話・fax 31-6431
 w:toshi@agate.plala.or.jp
 松本 敏 子
 電話・fax 59-4607
 mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党平塚市議会議員団
 電話 0463-23-1111 (内線 2375)
 平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

日本共産党議員団の法律相談
 今回は12月12日です。
 午後1時 (要予約)

No.1052 2009年11月22日発行

次期環境事業センター整備・運営の事業者（優先交渉権者）が決定

11月13日、平塚市次期環境事業センター（ごみ焼却場）の整備・運営を行う事業者選定委員会が開かれ、18日にその結果が公表されました。

下の表の結果から、平塚市・大磯町で発生する可燃ごみ等を焼却する施設を整備・運営する事業者は、「(株)荏原製作所首都圏営業所」に決定したと報告がありました。

代表企業	処理方式	非価格 要素点	価格点		総合 評価点 100点 満点	総合 審査結果
			提案金額			
		60点 満点	上段税抜金額	40点 満点		
			下段税込価格			
(株)荏原製作所 首都圏営業所	流動床式 焼却炉	37.61	193億7891万2000円 203億4785万7600円	40.00	77.61	優先 交渉権者
日立造船(株) 東京本社	ストーカ式 焼却炉	40.87	219億円 229億9500万円	35.40	76.27	次点 交渉権者
(株)タクマ 東京支社	ストーカ式 焼却炉	38.44	252億円 264億6000万円	30.76	69.20	
予定価格(上段税抜き価格 下段税込価格)			273億9038万円 287億5989万9千円			

電話・ファックス・メールで皆さんからのご意見・ご要望をお寄せください。

平塚市環境事業センター整備・運営の概要

場所：平塚市大神3342ほか
 (約1.3ヘクタール)

焼却炉の規模：315t/日
 (105t/日×3炉)
 30年間使用することを
 前提とした設計・施工・運営

年間処理量：84,388t

施設完成予定：平成25年3月

事業者の運営期間：平成25年4月～
 平成45年3月(20年間)

整備・運営：DBO方式
 (Design：設計、Build：施工、
 Operate：運営を一手に担う方法)

処理方式：流動床式焼却炉

焼却炉内に砂が入っており、これを高温に温め、風圧により流動させる。高温で流動した炉内に破碎ごみを投入し、短時間で燃焼する焼却炉。(現在も流動床式)

税込み価格：203億4785万
 7600円
 (予定価格は約287億6千万円)

次期環境事業センターの事業者決定について、皆さんからのご意見をぜひお寄せください。



平塚市も8月に「仕事の点検作業」を実施 その結果から

8月29日(土)、教育会館で一日かけて「仕事の点検作業」が行われました。
 平塚市が実施している事業のうち、

- (1)人件費を含めた事業費が
500万円以上の事業
- (2)事業の実施について、市に
裁量の余地がある事業
- (3)外部の視点から意見を聞く
必要があると思われる事業

の3条件にあった事業を洗い出し、今回、14事業の点検作業が行われました。



平塚球場の木々も色づき始めました。

点検作業メンバーである学識経験者：8名、県職員：2名、市政モニター：4名の計14人が2組に分かれ、市の担当課から事業内容や問題点、この点検作業に出してきた理由などを聞き、「不要」「事業内容等の見直し」「現行どおり」等のどれに該当するか意見を出し合い、今後の方向性を示しました。

市は「仕事の点検作業の結果を踏まえて検討し、次年度以降の事業の見直し及び予算編成に活用します。」としていますが、作業メンバーの選考経過や、各事業が始まった経緯をどう考え、それに代わる事業の具体案は何かを示されないと、市民の協力によって継続してきた事業までもが、市民不在の議論で打ち切られる恐れがあると危惧します。 今回の結果は以下の通りです。

	作業名	担当課	仕事の点検作業結果
1	市民文化啓発事業 (平塚市文化振興基金活用事業)	行政総務課	事業内容等の見直し
2	総合公園管理庶務事業 (湘南ひらつか大盆おどり)	みどり公園・水辺課	不要
3	自主防災組織支援事業	防災危機管理課	事業内容等の見直し
4	心身障害者福祉手当支給事業	障がい福祉課	事業内容等の見直し
5	市民文化啓発事業 (平塚市文化振興基金活用事業)	文化・交流課	不要
6	ごみ収集運搬事業 (事業系ごみ(特定ごみ制度))	環境業務課	市以外が実施
7	幼稚園運営補助事業 (私立幼稚園教材教具購入費 及び健康管理費補助金事業)	学務課	不要
8	広報紙発行事業	広報・情報政策課	現行どおり
9	高齢者ふれあいバス事業	高齢福祉課	不要
10	海洋少年団交流事業	青少年課	現行どおり
11	合併処理浄化槽普及促進事業	土木総務課	事業内容等の見直し
12	新しい七夕まつり創出事業	商業観光課	現行どおり
13	建築確認事業 (専用住宅等の中間検査制度)	建築指導課	不要
14	地区公民館事業 (市民体育レクリエーション)	社会教育課 (中央公民館)	現行どおり

12月議会に国民健康保険税の納付額を平準化する条例改正案が!

他の自治体では、国民健康保険税の納付は平成20年10月から「特別徴収」を開始していますが、平塚市は他のシステムとの関係で来年の10月から始めることになっています。

国民健康保険税の徴収は、地方税法で、「保険税額を徴収する回数で割ったとき、『千円未満』の端数はすべて最初の回に入れる」ことになっているため、1回目が非常に高額になっています。ところが、「特別徴収」になると、「千円未満」ではなく「百円未満」となるのです。

定例行政報告会で、例をあげて説明がありました。

《保険税が年額66,600円の場合》

10回払いで割ると1回は6,660円。しかし、1,000円未満は初回に入れるので、1回目は6,660円+(660円×9=5,940円)で12,600円。

2回目からは6,000円となり、1回目は2回目以降の2倍強になります。

《特別徴収になると》

10回払いで割ると1回は6,660円。しかし、100円未満を初回に入れるので、1回目は6,660円+(60円×9=540円)で7,200円。

2回目からは6,600円となり、1回目との差が小さくなり、1回目の負担が少なくて済みます。

今までも、「なんで1回目がこんなに高いの?年金は同じ額しか入らないのに、こんなに差をつけないでほしい!」という声が出ていました。

今度の12月議会で、地方税法の「但し書き」を運用し、普通徴収でも「百円未満」を1回目に入れるよう条例改正を行うことが提案されます。



生活保護受給者、さらに急増! 5億円の補正予算

昨年度の生活保護費の総額は、決算額で41億8500万円でした。

今年度は、当初予算で42億2200万円組んでいましたが、12月議会に5億500万円の補正予算が計上されます。

高校では「授業料を払えず、将来ある生徒が高校をやめざるを得ない」状況が起こっているといえます。

これから冬に向かうというのに、住む家もない状況で首を切られた人が次々と相談にきます。

皆さんと一緒に、平塚でも「派遣村」の準備をしていけたらと考えています。お力をお貸しください!(M)

